

○平成30年7月24日 文教厚生委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

文教厚生委員会では、今年度のテーマを「障害福祉について」及び「地域の特色を生かした小・中学校教育の推進について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、高松市立栗林小学校（高松市栗林町）において、地域住民等が学校運営への参画や支援を行うために、必要な支援に関する協議をする機関としての学校運営協議会の設置の取り組みなどの説明を受け質疑を行うとともに、校内の様子を視察しました。



次に、社会福祉法人香川こだま学園（高松市木太町）において、未就学の障害のある子供に対し、個々の障害及び発達過程に応じた発達上の課題を解決させていくための取り組みなどの説明を受け質疑を行うとともに、施設内の様子を視察しました。



最後に、さぬき市立さぬき南中学校（さぬき市大川町）において、「心の交流事業」などの活用による主体的に行動できる生徒や地域に貢献できる生徒の育成を目指した取り組みなどの説明を受け質疑を行うとともに、校内の様子を視察しました。

